

<h1>ほーほーどり</h1> <p>我孫子野鳥を守る会</p>	<p>No. 218</p> <p>2011年</p> <p>1 ~ 2月号</p>
----------------------------------	--

2011年の新年にあたって

会長 間野吉幸

明けましておめでとうございます。会員の皆様には清々しい新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。年頭にあたりご挨拶申し上げます。

我孫子野鳥を守る会は後1年余りで設立40周年を迎えます。これも偏に会員の皆様の弛まぬ活動によって実現できたものです。改めて会員の皆様にお礼を申し上げます。私達は、楽しみながら野鳥観察し、調べ、環境を考え、そして次世代の人に伝えて行く活動をして参りました。

このような活動を40周年に向けて会としての記録を残そうと、昨年40周年記念事業準備委員会より下記の様な提案がなされました。幹事会での承認を受け、今年はその準備作業に入ります。

記念事業全体のコンセプトは、人と鳥が共生できる環境を考える 我孫子野鳥を守る会の特徴を生かす 会員の全員参加を目指す コスト意識を持つとなっています。

具体的には、記念誌(データ編)は、当会の調査データ、鳥便りなどを基に地元の野鳥の実態にポイントを絞って作成します。記念誌(一般向)は、データ編とは別に一般向けを対象とした小冊子で、散歩などに利用出来る内容を目指した「野鳥と草木に親しむ手賀沼散歩」(仮称)を制作します。更に、記念パーティ、記念講演会、記念探鳥会(一般市民も対象) 会員による記念発表会などを計画しています。

これらの事業を成功させるには、何よりも増して会員の皆様のご協力が必要です。楽しみながらこれ等の事業に是非ご参加頂きたいと思っております。

の一般向け記念誌作りは、七地点で定例日を定め野鳥と植物の観察とデータ収集を昨年の12月より始めました。ご関心のある方は是非ご参加下さい。お待ちしております。

今年は、従来 of 行事に加え、40周年準備事業が追加されます。これ等を通し、会の活動が益々充実したものになりますよう、皆様と共に頑張り、来年良い40周年を迎えられますことを祈念致します。

昨年も申しましたが、「人とひととの繋がり」の環を拡げ、野鳥(自然)に親しみ、野鳥(自然)を知り、野鳥(自然)を守る活動を今年も続けましょう。このサイクルの環を拡げて行きましょう。

行 事 案 内

1 月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 1月9日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 2011年最初の定例手賀沼探鳥会です。冬鳥と手賀沼の水鳥の最盛期です。今年も種々のカモ類が見られることと思います。葦原にはオオジュリン、ベニマシコ、ジョウビタキ、チュウヒの飛翔、田んぼのタゲリなど、多くの鳥たちと出会い、今年の鳥運、鳥果を願いたいと思います。

解 散 正午
担 当 桑森

たが、今回は小見川・神之池は従来通りで、波崎・北浦を取りやめ、替わって江戸崎に足を伸ばします。小見川の葦原ではワシ・タカ、神之池ではカモ類をはじめとする水鳥が、特にミコアイサは毎年多く見られます。江戸崎は関東唯一のオオヒシクイの飛来地で毎年60~70羽が来ています。冬鳥の代表であるガン・カモやワシ・タカなど多くの鳥たちと出会い、2011年の探鳥をスタートしましょう。

交 通 自家用車分乗です。便乗者は一人1,500円を運転者にお渡し下さい。申し込みの際、自家用車を提供可能な方はその旨をご連絡ください。

持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途中購入可)

申 込 桑森亮まで
Tel/Fax: 04 - 7182 - 3149

担 当 松田、田丸、桑森

2 月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 2月13日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 寒さの真っ盛りですが冬鳥も最盛期です。昨年は50種が確認されています。水面に、葦原に、農耕地に、どこを見ても姿があるはず。人気のミコアイサ、運がよければタゲリにも会えることを期待しましょう、そしてワシ・タカも。湖面の風は冷たいです、防寒対策はしっかりと。

解 散 正午
担 当 松田

銚子カモメ探鳥会

期 日 1月16日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前7時30分
案 内 銚子は日本有数のカモメ探鳥地です。この時期、日本のカモメ類の半分以上、みることができると言われています。又めずらしいカモメに出会えるかも知れません。銚子でカモメの識別を体験しましょう。皆さんの多数の参加を期待します。

交 通 自家用車分乗です。分乗者は一人1,500円を運転者にお渡し下さい。申し込みの際、自家用車を提供可能な方はその旨ご連絡下さい。

持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途

小見川・神之池・江戸崎探鳥会

期 日 1月3日(月) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前8時
案 内 毎年恒例の新年探鳥会です。今までは波崎・北浦方面に出かけていまし

中で購入可) 厳しい寒さ(特に風が冷たい)が予想されます。防寒対策をお忘れなく!

申 込 染谷迪夫まで
Tel: 04 - 7182 - 3972

担 当 染谷、小玉

井 頭 公 園 探 鳥 会

期 日 2月6日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前8時
案 内 井頭公園は、栃木県真岡市にある県立公園です。この公園は、中央に大池がありカモ類も多く、その池を囲んで周囲が山林で、水辺の鳥と里山の鳥が同時に観察できる貴重な探鳥地です。昨年は40種類が観察されました。また、A班、B班に分かれてのバードソンも楽しみです。

交 通 貸切バス
費 用 3,000円(バス代等)
持 物 観察用具、防寒具、昼食(途中購入可)

申 込 猪爪敏夫まで(締切1月31日)
Tel/Fax: 04 - 7186 - 5075

担 当 猪爪、小林(寿)

福 島 小 鳥 の 森 探 鳥 会

期 日 2月26日(土)、27日(日)
集 合 我孫子駅北口 午前7時
案 内 福島市小鳥の森、阿武隈川親水公園で森の鳥(青い小鳥・黄色い小鳥等)と水鳥を探鳥し、時間があれば、小鳥の森で現地情報を得、赤い小鳥を探してみましょ。前回(2008/2/21-22)小鳥の森では、餌台に集まるアトリ、エナガ、シジュウカラ、シメ、シロハラ、ヒガラ、ヤマガラ、アオゲラ、トラツグミ、ビンズイ、マヒワ、ミヤマホオジロ、ルリビタキ等を、阿武隈川では、オオハクチョウ、オオタカ、キンクロ

ハジロ、コガモ、トビ、トモエガモ、ノスリ、ヒドリガモ、ホシハジロ、マガモ等を、飯坂温泉の奥・摺上浄水場では、オオマシコ、ベニマシコ、カヤクグリ、カシラダカ等を、いわき海岸の榎葉町天神崎スポーツ公園ではクロガモの大群を観察できました。

交 通 貸切バス
宿 舎 旅館 文知摺(もちずり)
福島市北中川原 22-2
Tel 024 - 534 - 7409

費 用 22,000円程度。なお昼食は各自でお支払いをお願いします。

持 物 観察用具、雨具、防寒具、雪で滑らない靴、常備薬等

申 込 申込開始1月9日(定員15名)
鈴木静治まで
Tel: 04 - 7169 - 4191
E-mail:

*探鳥地、スケジュールの詳細は、参加申し込み頂いた方に、後日お知らせします。

担 当 鈴木、六角

市 民 手 賀 沼 探 鳥 会

期 日 1月30日(日) 小雨実施
集 合 手賀沼親水広場 午前9時
案 内 我孫子市、我孫子市環境レンジャーと当会共催の探鳥会です。一般市民と一緒に手賀沼遊歩道を歩いての探鳥会で、大勢の市民の方が参加されます。また会員募集の絶好の機会でもあります。参加された一般市民の方からは、野鳥観察の楽しみが体験でき大変良かったとの言葉を頂いており、会員の皆様の沢山のサポートが必要となります。多くの会員の皆様の参加をお待ちしております。

解 散 正午
担 当 染谷、佐々木、松本、間野

行 事 報 告

10 月手賀沼探鳥会とカウント

10 月 10 日の手賀沼探鳥会は雨のため中止になりました。集合時間 15 分前には小降りになり、5 名の会員の方と待機しましたが、再度降り出したため中止しました。

(担当) 小林(寿)、野口(紀)

【手賀沼クリーン作戦】

10 月 10 日の午後実施予定の手賀沼クリーン作戦も中止しました。(担当) 染谷

<カウント班> 木村稔、田中功

調査日時 2010.10.12 9:30~13:00

曇 無風 気温 24-25

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	2	15	17
カワウ	14	109	123
ゴイサギ	8	1	9
ダイサギ	4	6	10
チュウサギ	1	0	1
コサギ	9	6	15
アオサギ	13	3	16
コブハクチョウ	9	19	28
オドリ	2	0	2
マガモ	0	1	1
カルガモ	189	50	239
コガモ	42	22	64
オナガガモ	0	39	39
スズガモ	6	28	34
バン	3	0	3
オオバン	2	13	15
アオアシナギ	1	0	1
イソナギ	2	0	2
セイカシナギ	0	3	3
ユリカモメ	0	10	10
セグロカモメ	1	1	2
合計	308	326	634

11 月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2010.11.14 9:00~12:00

曇り 風弱 気温 17

<認めた鳥> カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリカモ、ミサゴ、ノスリ、ハヤブサ、チヨウゲンボウ、キジ、クイナ、バン、オオバン、タゲリ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、ハクセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 41 種 番外 カワラバト

<探鳥班> 染谷良子、村瀬和則、田中悟、西昭子、佐々木隆、田中恒雄、小川廣子、間野吉幸、大久保陸夫、宮下三禮、松本勝英、松本葉子、川村美恵子、山中浩一、中野久夫、猪爪敏夫、吉田隆行、川村直也、榎本右、常盤孝義、田丸喜昭、小林秀美、松田幸保、武藤康之、古出洋子、野口紀子、類地佑子、小阪忠久、小林博之、鈴木静治、六角昭男、大矢篤、河内悠太郎 (担当) 北原建郎
参加者 34 名

<カウント班> 木村稔、田中功、染谷迪夫

調査日時 2010.11.14 9:15~2:35

曇り 風弱 気温 16.5

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	22	16	38
ハジロカイツブリ	0	9	9
カンムリカイツブリ	27	11	38
カワウ	19	74	93
ゴイサギ	19	0	19
ダイサギ	8	10	18
コサギ	2	13	15

コトハチヨウ	25	13	38
マガモ	0	20	20
カルガモ	97	7	104
コガモ	51	0	51
オカヨガモ	10	0	10
ヒトリガモ	8	0	8
オナガガモ	14	15	29
スズガモ	0	3	3
ハン	2	0	2
オオハン	9	5	14
コリカメ	31	33	64
セグロカメ	4	1	5
合 計	348	230	578

1 月幹事会案内

日 時 1月9日(日) 13:30~16:00
 場 所 水の館 2F 研修室
 議 題 1. H23 年上期 行事予定
 2. 会報 219 号記載記事について
 3. 第 3 四半期会計報告
 4. 報告事項
 その他(議題提出する場合は事務局に連絡ください。)

J B F 参加報告

事務局 染谷

ジャパンバードフェスティバル2010は10月23日(土)、24日(日)の2日にわたって、親水広場、鳥の博物館駐車場(鳥博広場)など計8会場で開催されました。

開催中の2日間、好天に恵まれ、たくさんの方が訪れました。40,000人(JBF 実行員会公式発表)です。出展団体数100団体以上におよび、我が会も実行委員会の一員として下記のイベントに参加しました。お手伝い頂いた会員の皆さんにお礼申し上げます。尚、当会ブースを訪れた人は2日間で1,818人でした。定点バードウォッチングや船上バードウォッチングを加えると2,736人が参加しました。参加したイベントの状況を報告いたします。

1. 「庭に鳥を呼ぶ」

(鈴木)

鳥の好む木・草の実の実物標本90種をブースの軒先に吊り下げる方法、生け花方式、実を皿に入れる方法および透明密封ポリエチレン袋に入れる方法で陳列し好評でした。ブースを訪れた人達は、我孫子にもこんなに多くの木の実・草の実が有ることに驚き、感心もし、実物標本につけたラベルで植物の名前を確認していました。また、庭はないがベランダに、庭はあるが小さいがどのような植物を植えたら鳥を呼ぶことができるのかと熱心に質問する人、毎年どんな植物が陳列されるか楽しみで訪れる人もありました。

2. パネル展示

手賀沼周辺の身近な鳥の生態をパネル展示しました。身近な鳥の生活ぶりが良くわかったと好評でした。

3. 紙芝居、鳥さんクイズ、塗り絵

(宮下)

JBF 期間中はお天気に恵まれ大勢の方に参加してもらうことが出来ました。今年は鳥さんクイズと塗り絵が主のつもりでしたが、紙芝居の人気も根強く200人もの方に見てもらいました。塗り絵は子供だけでなく大人も楽しんでもらえたようです。何人かの方が「自宅にいるお年寄りに塗り絵をやらせたい」と希望されました。鳥さんクイズは「手賀沼で見られる鳥」のパネルを見ながら説明し、正しい答えが出来るように指導(?)しました。

参加者も 300 人近くありました。今回は新しい企画を実施するにあたってバタバタしましたが無事に終了してホットしました。お手伝いしてくださった皆様に感謝します

4. 「定点バードウォッチング」 (六角)

噴水前の広場(定点)から手賀沼の鳥たちをどれくらい観察できるか、7~8 台の望遠鏡を設置、来場者に実際に望遠鏡をのぞいてもらい、バードウォッチングをしました。観察された鳥は写真でパネルに展示しました。観察された鳥はほぼ例年並みでしたが、「カワセミ」も何度も目を楽しませてくれ皆さん大喜びでした。2 日目には珍しい「ホイグリンカモメ」が出現し、「カワセミ」も何度も目を楽しませてくれ、<来場者数> 725 人(1 日目: 308 人、2 日目: 417 人)

<観察された鳥> オナガガモ、カルガモ、カワウ、カワセミ、コガモ、コブハクチョウ、セグロカモメ、ハクセキレイ、バン、ヒヨドリ、モズ、カイツブリ、ミサゴ、オオバン、コサギ、ダイサギ、スズメ、シジュウカラ、ホイグリンカモメ、ユリカモメ、ハシボソガラス、アオサギ、チュウヒ、カンムリカイツブリ、セグロセキレイ、ハシブトガラス、イソシギ、セイタカシギ、ハシビロガモ、カワラヒワ、マガモ 計 31 種

<番外> カワラバト、バリケン

5. 「船上バードウォッチング」 (猪爪)

遊覧船を使って手賀沼を周遊する探鳥会、一周の所要時間は約 1 時間。5 回実施しましたが、毎回希望者が多く毎回満員で乗船者は延べ 198 名に達しました。当会発行の(乗船記念野鳥写真カード・8 種類)を配布し好評でした。

<観察された鳥> カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、ホシハジロ、トビ、ミサゴ、チュウヒ、バン、オオバン、イソシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、ハクセキレイ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 27 種

鳥 だ よ り

- | | |
|---|---|
| 09.12 [手賀沼辺] ㊦㊧㊨㊩(1)上沼
染谷迪夫・木村稔・田中功 | 09.25 [北新田] ㊦㊧㊨㊩(1) 電柱から
飛立ち 中野久夫 |
| 09.21 [弁天下] ㊦㊧㊨(3) 土手で採餌
中野久夫 | 09.26 [泉] ㊦㊧(1) 12:21、キジバトを狙
って襲撃 飯泉仁・久美子 |
| 09.23 [浅間前] ㊦㊧㊨㊩(2) 上空を通過
鈴木静治 | 09.26 [片山新田] ㊦㊧㊨(1) 11:41、草む
らから飛び立つ 飯泉仁・久美子 |
| 09.22 [布施・布施下あけぼの山] ㊦㊧㊨
(1) ㊦㊧の木で 中野久夫 | 10.02 [中峠] ㊦㊧㊨(1) 葦の先にとまる
鈴木静治 |
| 09.23 [千間橋] ㊦㊧㊨㊩(2) 停飛し、餌
を探す 鈴木静治 | 10.03 [長崎・野々下] ㊦㊧㊨(2) 11:00、上
空を旋回 飯泉仁・久美子 |
| 09.23 [千間橋] ㊦㊧(1) 電柱頂上にとまり
鳴く 鈴木静治 | 10.03 [千間橋] ㊦㊧㊨(2) 葦の穂先にと
まる 鈴木静治 |
| 09.24 [北新田] ㊦㊧(1) 河川敷上を物色飛
翔 中野久夫 | 10.04 [北新田] ㊦㊧㊨(4) 3 号排水路土
手で 中野久夫 |

- 10.05 [北新田] /スリ(1)電柱上 中野久夫 鈴木静治
10.5 [北新田] ㇿ`舛(3) 3号排水路土手で 中野久夫
10.06 [染井入新田先手賀沼] セイタカキ` (2)12:35、葦原の際で餌を物色 飯泉仁・久美子
10.06 [大井新田先手賀沼] ミソコ(1)11:20、水面の杭にとまり、周囲を警戒していた 飯泉仁・久美子
10.07 [千間橋] ㇿウケ`ンホ`ウ(3) 上空高く飛ぶ 鈴木静治
10.07 [千間橋] ヒ` (1) 田の上を飛ぶ 鈴木静治
10.07 [千間橋] /スリ(1) 上空高く飛ぶ 鈴木静治
10.07 [北新田] ㇿ`舛(4) 3号排水路土手で 中野久夫
10.10 [北新田] セイタカキ` (1) 耕田の水たまりで採餌 中野久夫
10.10 [北新田] ㇿ`舛(1) 3号排水路土手で 中野久夫
10.11 [布佐平和台] チョウケ`ンホ`ウ(1) 高压塔上を鳴きながら飛び回る 鈴木静治
10.11 [千間橋] チョウケ`ンホ`ウ(2) 田の上空を飛ぶ 鈴木静治
10.11 [千間橋] ヒ` (2) 鳴きながら飛ぶ 鈴木静治
10.11 [染井入新田] ㇿ`舛(2) 畦の草先で 桑森 亮
10.12 [北新田] 材カ(1) 電柱から飛去 中野久夫
10.13 [北新田] ㇿ`舛(4) 3号排水路土手で 中野久夫
10.15 [相島] ヒ` (1) 田の上を滑空し電柱上にとまる 鈴木静治
10.15 [高野山] ヤガラ(1) 声 平岡 考
10.16 [北新田] ㇿ`舛(3) 3号排水路土手で 中野久夫
10.17 [北新田] ㇿ`舛(1) 3号排水路土手で 中野久夫
10.18 [北新田] ㇿ`舛(2) 3号排水路土手で 中野久夫
10.19 [北新田] 材カ(1) ㇿ原上を飛翔 中野久夫
10.19 [北新田] ㇿ`舛(2) 3号排水路土手で 中野久夫
10.21 [古戸] ツツ`リ(1) 柳の間を移動する 飯泉仁・久美子
10.21 [古戸] ミソコ(1) 利根川上流へ飛ぶ 鈴木静治
10.22 [高野山新田] セイタカキ` (3) 中洲で休む 鈴木静治
10.22 [上沼田] ㇿウケ`ンホ`ウ(1) 電線にとまる 鈴木静治
10.23 [下沼田] ㇿウケ`ンホ`ウ(1) 電柱上にとまる 鈴木静治
10.25 [北新田] 材カ(1)河川敷柳上 中野久夫
10.25 [北新田] チョウケ`ンホ`ウ(2) 電柱上 中野久夫
10.26 [布佐平和台] ジョウヒ`舛(1) アンテナに止り囀る 鈴木静治
10.26 [北新田] /スリ(1) 電柱から飛去 中野久夫
10.27 [北新田] ㇿウケ`ンホ`ウ(1) 電柱から飛去 中野久夫
10.27 [北新田] /スリ(1) 電柱から飛去 中野久夫
11.01 [北新田] ㇿヅル(1) 15:20頃稲刈り田から飛立ち北西に飛去 中野久夫
11.01 [北新田] ㇿヅル(1) 休息 採餌 北原建郎
11.02 [北新田] ㇿヅル(1) 稲刈り田で1番穂を採餌、8:00頃飛立ち東へ飛去 中野久夫
11.03 [古戸] チョウケ`ンホ`ウ(1) ャカゴ`ルにとまる 鈴木静治
11.03 [江蔵地] ツグミ(1) 木の上部の枝にとまる 鈴木静治
11.03 [東中新宿] ツグミ(1) 8:10、自宅周辺で鳴いていた 飯泉久美子
11.04 [中沼田] チョウケ`ンホ`ウ(1) 電柱頂上より飛ぶ 鈴木静治
11.06 [北新田] スグ`フヤキ`チヨウ(1) 3号排水路土手で 中野久夫
11.07 [布佐平和台] 材カ(1) 住宅の上空を飛ぶ 鈴木静治
11.07 [大井新田先手賀沼] オカヨシカ`モ(1)11:26、水面を移動 飯泉仁・久美子
11.07 [大井新田先手賀沼] キンカハシ`ロ(1)11:26、水面を移動 飯泉仁・久美子
11.07 [箕輪新田先手賀沼] フヅ(1)12:28、東方向から出現し、蓮の上を旋回 飯泉仁・久美子

- 11.07 [千間橋] ㊦㊧㊨㊩(1) 水面上を
飛ぶ 鈴木静治
- 11.07 [酒井根 6 丁目下田の森] トビ
(1)10:19、上空を旋回 飯泉仁
- 11.07 [浅間前] ノリ(1) 田の杭にとまる
鈴木静治
- 11.07 [千間橋] ノリ(1) 高压塔の中ほど
にとまる 鈴木静治
- 11.07 [片山新田先手賀沼] ハシビロカモ
(1)12:51、水面を移動 飯泉仁・久美子
- 11.07 [片山新田先手賀沼] ヒノシロカモ
sp(1) 12:51、杭に止まり、時折水面に
何度も降りて餌を物色 飯泉仁・久美子
- 11.07 [大井新田先手賀沼] ヒトリカモ
(4)11:26、大津川河口の干潟で休憩
飯泉仁・久美子
- 11.10 [北新田] 材木(1) 越流堤横柳上
中野久夫
- 11.11 [北新田] 材木(1) 越流堤横柳から
飛去 中野久夫
- 11.11 [岡発戸新田] 材木(1) 上空高く飛
ぶ 谷山晴男・鈴木静治・間野吉幸
- 11.11 [岡発戸新田] ㊦㊧㊨㊩(1) 上空
高く飛ぶ
谷山晴男・鈴木静治・間野吉幸
- 11.11 [岡発戸新田] トビ(1) 上空を飛ぶ
谷山晴男・鈴木静治・間野吉幸
- 11.11 [下沼田] ノリ(1) 田の杭にとまる
鈴木静治
- 11.11 [岡発戸新田] ハヤブサ(1) 上空高く
飛ぶ 谷山晴男・鈴木静治・間野吉幸
- 11.11 [岡発戸新田] ミサゴ(2) 上空でカ
に追われる
谷山晴男・鈴木静治・間野吉幸
- 11.12 [江蔵地] ヒ(1) 上空を飛ぶ
鈴木静治
- 11.13 [浅間前] ㊦㊧㊨㊩(2) 電線より
田へ飛ぶ 鈴木静治
- 11.13 [下沼田] ㊦㊧㊨㊩(1) 電柱頂上
にとまる 鈴木静治
- 11.13 [千間橋] ノリ(1) 田の杭にとまる
鈴木静治
- 11.14 [手賀沼] ノリ(3) 下沼
染谷迪夫・木村稔・田中功
- 11.14 [手賀沼] ノリ(1) 下沼
染谷迪夫・木村稔・田中功
- 11.14 [手賀沼] ハヤブサ(1) 上沼
染谷迪夫・木村稔・田中功
- 11.14 [手賀沼] ミサゴ(2) 上沼
染谷迪夫・木村稔・田中功
- 11.15 [北新田] ㊦㊧㊨㊩(2) 電柱上
中野久夫
- 11.18 [泉村新田] 材木(1) 11:15、道路沿
いの電線に止まっていた
飯泉仁・久美子
- 11.18 [江蔵地] ノリ(2) 河原上空を飛ぶ
鈴木静治
- 11.19 [千間橋] 材木㊦㊧㊨㊩(1) 手賀川を泳
ぐ 鈴木静治
- 11.19 [千間橋] ノリ(1) 斜面林上をとぶ
鈴木静治
- 11.20 [北新田] ㊦㊧㊨㊩(2) 電柱から
飛去 中野久夫

今回寄せられた鳥の全種名

<山野の鳥>

アオジ、アマツバメ、ウグイス、エゾビタ
キ、エナガ、オオタカ、オナガ、カケス、
カシラダカ、カワラヒワ、キジ、キジバト、
コゲラ、サシバ、シジュウカラ、ジョウビ
タキ、シロハラ、ズグロチャキンチョウ、
スズメ、チョウゲンボウ、ツグミ、ツツド
リ、ツバメ、ノスリ、ノビタキ、ハシブト
ガラス、ハシボソガラス、ヒバリ、ヒヨドリ、
ムクドリ、メジロ、モズ、ヤマガラ
計 33 種

<水辺の鳥>

アオサギ、アマサギ、イソシギ、オオジュ
リン、オオハクチョウ、オオバン、オオヨ
シキリ、オカヨシガモ、オナガガモ、カイ
ツブリ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カ
ンムリカイツブリ、キセキレイ、キンクロ
ハジロ、クサシギ、クロツル、ゴイサギ、
コガモ、コサギ、コチドリ、コブハクチョ
ウ、スズガモ、セイタカシギ、セグロカモ
メ、セグロセキレイ、セッカ、ダイサギ、
タゲリ、タヒバリ、チュウサギ、チュウヒ、
トビ、ハクセキレイ、ハシビロガモ、ハジ
ロカイツブリ、ハジロクロハラアジサシ s
p、ハヤブサ、バン、ヒドリガモ、ホオジ
ロ、マガモ、ミサゴ、ミミカイツブリ、ム
ナグロ、ユリカモメ、ヨシゴイ 計 48 種
合計 81 種

<番外種>	首藤佑吉	3	
アイガモ、アヒル、カワラバト、コジユケイ、バリケン	鈴木静治	76	
	染谷迪夫・木村稔・田中功	54	
	谷山晴男・鈴木静治・間野吉幸	28	
	中野久夫	74	
	平岡孝	2	
今回の投稿者の総投稿件数	間野吉幸・鈴木静治	1	
飯泉久美子	3		
飯泉仁	278		
飯泉仁・久美子	225		
川田光男・谷山晴男・鈴木静治	15		
北原建郎	1		
桑森亮	4		
	総計	759	(浅井久)

PACIFIC NORTHWEST への鳥追いの旅 (最終回)

田丸嘉昭

5月5日(水)

私たちの外国への旅の間、新聞は読まないし、テレビもあまり見ない。前日の雪を考え、テレビで天気予報を見ようと思ったが、この田舎町は、ケーブルテレビとみえ、50近いチャンネルが放送していて、どれがこの地域の放送か分からない。私たちの興味は、ベンド近辺の天気でしかない。(ニュース番組でも、日本の話題などは皆無だ)。この日は、予定を変更して、国道20号線で北西へ向かい、シスターズの町で、給油をし、朝食を買う。地元で得た情報は、目指していたウイラメート国立森林区をぬける森の中の小さな湖が点在し夏の鳥が多いとされていた州道126号線は、雪のため閉鎖されているとのこと。行けるところまで行ってみようと、さらに北西に向かいデスチューツ国立森林区の中の20号線を走る。一番高い標高3181mのジェファーソン山に連なる山々の峠に向かう上り坂に入った頃から、雪が激しく降り始め、峠に近づくと状態がもっと厳しくなると想像して、引き返すことにした。やや戻って、キャンプ シャーマンに向かう森林地帯を通る。雪はまだちらついている。ここは、夏の別荘地で、小さなキャビンが立ち並んでいた。小さなメトリアス川脇の駐車場に車をとめ、川沿いの松林を歩く。キビタイシメ EVENING GROSBREAK, キツタアメリカムシクイ、足元までやってきたメキシコカワガラス、ウタズズメ、セジロコゲラ DOWNY WOODPECKER、キガシラシトド、コリス、などを楽しんだ。

戻ってシスターズの町を通り過ぎ、ベンド近くに、テュマロ SP に立ち寄る。ここは、夏場のキャンプ場が主目的で、数多くの車が駐車できるスペースがあったが、この時期、人影はまばら。小さい渓谷の川沿いのトレールで、比較的近い距離でキガシラシトド、ミドリツバメ、キツタアメリカムシクイ、セジロコゲラ、ハイロメジロハエトリ GRAY FLYCATCHER、キタオビナシショウドウツバメ NORTHERN ROUGH-WINGED SWALLOW、ウタズズメなどを撮影。

この日の走行距離は134キロ。夕食には近くのステーキハウスに歩いていった。寒い。市の案内書の過大な宣伝文句にかかわらず味は中の下。この三日間、行ったレストランでは、ビールとワインは提供するが、ウイスキー類のスピリットは出さない。多分、レストランにとってスピリット免許は、割高なせいかもしれない。

5月6日(木)

この朝は、この旅で初めての快晴だが、相変わらず氷点に近く寒い。宿の外へでて、公園と

川辺を歩き探鳥した後出発。この日も、雪の多い山々の高度な道路はさけ、国道 97 号線を南下。左手に標高 2400m の 50 万年火山活動を続けたポーリナ ピークと二つの湖があるニューベリー国立火山記念公園があるが、ここには寄らず。ラ パインの町周辺で西へ州道に折れる標識が目に入らず二度も道を間違え時間を使った。どうやら 42 号線にたどり着き、西へ進む。この地域の西側に、南北に雪で覆われた 1800-3100m のカスケードの山々が連なる。進行している周辺には二つの大きな貯水湖と二つの湖がある。右手の林道に折れて、クレーン貯水池ミサゴ管理地域のクレーン プレーリー貯水湖に行く。道路の日陰には、まだ雪が残っているが運転には差しつかえない。人気のほとんどない湖岸の開けたところにとまり、鳥を追う。水面に鳥影は薄かったが、ミミヒメウの成鳥と幼鳥が水面に倒れた木の上で休み、カワアイサ、オオギアイサとヒメハジロも見られた。周囲の森にはキツタアメリカムシクイの数が多かったため、光線も良く、写真を何枚も撮った。ミヤマシトドが現れ、確信はないがニシモリタイタンチョウ WESTERN WOOD-PEWEE の写真も撮る。ミサゴは見かけない。貯水湖の南岸の林道をぐるりと回り、42 号線を横切り、カスケード レークス ハイウェイを、ウィッキアップ貯水湖とデービス湖を横目に見、雪をかぶったオーデル ブット山 (2100m) を正面に見ながら坂を下る。左右どちらかの山が、死火山なのだろうか、道の脇に広く溶岩の跡が広がっていた。州道 58 号線で右折し、オーデル湖の北岸沿いに走ると、ウィラメット峠に出る。雪が残る急な坂道をオーデル湖岸まで下ってみたが、大きな収穫はない。ウィラメット国営森林区の中を通る州道を北西にむけて、長い下り坂を下る。オークリッジ町手前のヒルス クリーク湖に立ち寄ったが、成果なし。町のスーパーに立ち寄る。山をかなり下ったことと、この日の好天で気温は摂氏 15 度前後で、私たちにはまだ寒く感じられるが、買い物客たちは半袖を着ていた。クスターの町でルックアウト ポイント湖畔のデックスター州立レクリエーション地区も成果がない。

間もなく、カスケード山脈を抜けきり大きな盆地の平野部で人口 15 万ほどのユージーン市内に入る。久しぶりの大都会だ。この辺から、北のポートランドあたりまでは広大な盆地が広がっている。ウィラメット河岸の大きなショッピングセンターの中のバリー リバー インがこの日の宿だ。大きなホテルだ。この日の走行距離は 296 キロ。大きなバーで喉を潤す。幅の広い河に面したレストランで、鳥を眺めながら食べた夕食は、鹿 (エルク) のメダリオン ステーキ。これも旨かった。夕刻でツバメが忙しく飛び交い、カモも何種か浮かんでいたが新種はなし。

5月7日(金)

好天は続いている。この日は、旅の最後の探鳥日となり、長距離を走らなければならないし、気温が上がりそうなので、ジャケットのライニングをはずす。

州道 126 号線を西に進む。ここからシウスロー国立森林地区のカーブの多い山塊をぬけていく。運転する車は、直線の上り坂では力強く走り、後続の車との差を広げるが、カーブが続く部分に入ると、私は車の感覚が違っているので、制限された速度で曲がっていくと、後続の車が追いついてくる。自分の通常運転する車の現地の人たちは、道路にもなれているせい、カーブではスピードをあまり落とさないからだろう。約 100 キロで、久しぶりの太平洋岸のフロレンスの町に着く。東から流れ込む河と海水が混じる細長い湾に出て水面を眺め渡すが、カモメとウを除き、鳥の姿が薄い。国道 101 号線に出たところは、町から外れたところでガソリンスタンドがなく、運転席の表示はあと 100 キロほど走れると出ていたが、間もなく、「要注油」のサインが点灯した。これから先は、大きな町がないので、やや心配になる。程なく、カリフォルニアアシカ洞窟 SEA LION CAVES に着く。海沿いの切り立つ断崖にはいくつもの洞窟があり、その中や周辺の岩場にアシカたちが体を休めている。洞窟までは、入口の受付と土産店があるフロアーからエレベーターでやく 70m ほど降り洞窟の内部が見下ろせる場所に出る。ここでは光線が少ないので、撮った写真はほとんどボツ。通路が外の見晴台まで通じている。ここから日向の岩場や海面のアシカ、ウミバト PIGEON GUILLEMOT

の写真は撮れていた。アオノドヒメウ BRANT'S CORMORANT も太陽が降り注ぐ岩場にかたまるように群れていた。セグロカモメも仲間入りしている。ヒメコンドルが目線の先を飛びすぎるのを写真。

20 キロ先のヤッチャツの町でガソリンスタンドを見つけ給油して安心する。次の大きめな町ウォールドポートのオルシー湾に立ち寄ってみたが、あまり成果なし。サウスビーチ SP は、海水浴を目的とした広い砂浜の続く海岸で、上空をシギチの群が北上するのを見たが、種別は判定できず。遠い水際に 10 羽ほどのシギが見え、それらがこちらに近づいてくるので、望遠鏡で目をこらす。チュウシャクシギだった。ここまで、この旅で 36 枚撮り 17 本の写真を撮ったが、ここでの写真は、まだカメラの中に残っている。サウスビーチのヤキーナ湾にも立ち寄ったが、めぼしいものはなし。

国道 20 号線を東へ向かい、山の中の道を走り、山塊を通り抜けたところでスーパーに立ち寄る。コバリス市で、州道 34 号線に入り、ユージーンから北へ走る I-5 に乗り北上。オレゴン州都セイレムを過ぎ、州の大都市ポートランド市南で、I-205 に入る。金曜日の夕刻のラッシュアワーとぶつかり、高速道路で初めて 50 キロもの距離でノロノロ運転に巻きこまれる。原因は、各インターチェンジで、家路を急ぐ人たちが、高速道路に殺到するため、その数を調整するために、入口には信号が設置され、流入車両を制限していたが、その入口でも混雑していた。

この旅の最後の日は、ケーマスのクリス家に再び世話になる。マイクはロスアンジェルスに出張中で留守。この日の走行距離は 434 キロ。

5月8日(土)

クリス家から、対岸のポートランド空港までは 15 分ほどで行けるので、9 時に出発した。比較的小さな空港で、レンタカーの返還。この旅全行程の合計走行距離は 2611 キロ。チェックインには時間が掛からず、荷物はポートランドから成田まで直接預けられた。安全検査で、取り外すのを忘れたベルトのバックル、腕時計、携帯電話と靴をぬがねばならず、何回もゲートをくぐりなおさねばならず、時間が掛かった。シアトルまでは国内線で、ブラジル製の 30 人乗り程の小型プロペラの飛行機。シアトルを成田に向けに 1 時 29 分定刻出発。

5月9日(日)

時差で一日失い、午後三時ごろ成田に到着。

雑記： NWR と SP には、水洗ではないが、トイレが設置されている。アメリカでは、現金をあまり使う機会が多くない。手にするドル紙幣は、かなりくたびれているものが多い、日本の金融機関から「新品」を受取ることが多いのとは、ずいぶん違いがある。(完)

舟とウォーキングによるツアーのお手伝い

利根川舟運地域づくり協議会主催による手賀沼と冬鳥を観察する船とウォーキングによるツアーのお手伝いです。幹事で対応しますが会員の参加もお願いします。

日 時 1月22日(土) 9:00~12:00

集 合 手賀沼親水広場 水の館前

場 所 手賀沼及びその周辺

参加者人数 一般市民の方 70~80人

行 程 手賀沼親水広場(9:00) 遊歩道から野鳥観察 手賀沼フィッシングセンター
(11:00) 船上観察(12:00) 鳥博見学 手賀沼親水広場 解散

(染谷迪夫)

40周年記念誌（一般向）散歩コース観察メンバーの募集

我孫子野鳥を守る会は2012年3月には40周年を迎えることとなります。40周年を記念する事業の1つとして記念誌（一般向）を作成することになりました。つきましては手賀沼周辺の散歩コースを定め、身近な「鳥」や鳥の好む「草木」を求めて、月に1回くらい観察記録を残したいと思っております。

観察コースと各観察予定日・担当は次の通りです。（観察日は天候他の事情で変更の場合があります）

手賀沼公園～手賀大橋 （12月から毎月第1土曜 14:00～）

手賀沼遊歩道 （同上）

あけぼの山周辺 （12月から毎月第2土曜 14:00～）

、 担当：佐々木

北柏ふるさと公園～ヒドリ橋（12月から毎月第1月曜 9:00～）

手賀の丘公園・染井入落 （同上）

、 担当：野口、松下

谷津田～五本松公園 （12月から偶数月の第3木曜 9:00～）

浅間橋周辺 （12月から奇数月の第3木曜 9:00～）

、 担当：鈴木

お近くにお住まいの方、また鳥の好む「草木」に興味のある方大歓迎です。ぜひ散歩観察会にご参加ください。参加ご希望の方は下記世話役まで連絡ください。

野口隆也 Tel: 04 - 7163 - 7898

松下勝子 Tel: 04 - 7191 - 4438

佐々木隆 Tel: 080 - 5507 - 5343

鈴木静治 Tel: 04 - 7169 - 4191

会 員 便 り （ab-yachoより）

【手賀沼のミサゴ】

今年も「鳥博友の会」の担当として手賀沼公園会場に詰めていましたが、上沼ミサゴは10時55分にやっと魚をゲットしました。昨年より定位置が固定しています、明日も楽しみにしてください。（2010.10.23 松田幸保）

今朝私が鉄塔を通りかかった時も上沼ミサゴが魚をゲットしてました。午前8時10分でした。大食漢なのかもしれません。（2010.10.23 吉田隆行）

上沼のミサゴはJBF2日間とも姿を見せてくれていて、大勢の人がスコープをのぞいて行きました。昨年と同じ個体と思い「上沼ミサゴ」にしておりましたが、食卓に使う杭が異なり、胸の茶色が狭いように思います。よって今年は呼び名を「ミサゴロー」にします。名付け親は鳥胤同好会の黒田さんです。（2010.10.27 松田幸保）

ミサゴローは強風・荒波の中、8時半頃にどこかで魚を捕ってきました。10月23日（JBF初日）に魚を2回捕ったらしいので、再確認のために午後からも行ってみました。1時過ぎに2匹目を捕まえて来て食べ始めましたが、食べ過ぎなのか？途中休憩に入ったよ

うなので、私も引き上げました。(2010.11.02 松田幸保)

3日のことですが、やっと獲物を確保したミサゴローが運搬中に落としてしまいました。ファインダーを見ながら“ドジ!”と言って、鳥博へ向かいました。帰宅後ファイルを見たところ、水面に出た時にはなんと両足に魚を持っていました。両足に持っていたら杭に止まれないので途中で捨てたようです、賢いですね! 捨てた方が大きそうでしたが。(2010.11.05 松田幸保)

30年弱、鳥を見てきましたがこんなのは初めてです。
2匹を同時に捕まえたのでしょうか。それとも一匹づつかな?
訳あって捨てたのかな、それとも力尽きて落としたのかな?
尽きぬ想像に十分楽しませて頂きました。(2010.11.06 首藤佑吉)

ミサゴローの観察エリアで、ミサゴが2羽飛んでいるのが時々目撃されています。12日の10時頃に、旋回中のミサゴローがどこからか現れた1羽と連れ立って手賀沼下沼方面に飛んで行きました。1時過ぎに再び訪れた時には、定位置の杭に1羽で止まっていました。その後、魚を捕ったらすぐにカラスにいじめられ、しばらく逃げ回っていましたが魚は離しませんでした。(2010.11.14 松田幸保)

ミサゴローが1日に3度魚を獲ることがある印象を受けていたので、今日は長居をしてみました。このところ捕獲に苦労することが多かったですが、今日は割合すんなりと獲りました。獲物はやや小ぶりでしたが、8:30、9:45、13:30の3回ゲットしました。確認していませんが、4度目は無いと思います。(2010.11.16 松田幸保)

今日はミサゴローの魚獲りは見られませんでした。上空にきたチュウヒを攻撃しました。先日はトビを攻撃したので、弱虫の先入観を改めました。背景はイトーヨーカドー我孫子店。(2010.11.20 松田幸保)

きのう勇敢だったミサゴローは、今日はユリカモメに追われていました。昨年はお尻を突つかれるのを見たことがあります。ユリカモメは気が強いようで、昨日はチュウヒにも突っかかっていました。(2010.11.20 松田幸保)

雨が上がったばかりなので、ミサゴローはまだ魚を獲っていないだろうと思いながら訪れましたが、あんに相違してすでに捕まえていました。半分ほど食べたところで休憩していたのは大きい魚だったからでしょう、はらわたが抜けた穴が見えます。午後に訪れた時にも、飛ぶ雰囲気がないので引き上げました。(2010.11.26 松田幸保)

きょうのミサゴローは9時頃に魚を獲り、定位置の杭に運びました。よく見ると魚の頭が下になってぶら下がった状態になっているので、これではしばらく食べられないなと思いながら友の会展の撤収作業に向かいました。作業が終わり10時半過ぎに再び訪れたところ、同じ左足で頭部分を持って食べ始めていました。昨年の上沼ミサコの経験から、てっきり右足に持ち替えているだろうという予想が外れました、途中経過を見たかったです! そろそろ足洗いでもするかなと思い14時半ごろに行ったところ、中休みをしていました。魚が太くて食べでがかったようです。(2010.11.30 松田幸保)

【クロヅル】

11月1日の午後、北新田でクロヅルを観察しました。先日の台風の影響か、それとも

異常気象の為進路を間違えたのでしょうか。こんなところでクロツルに出会えるとは驚きです。非常に警戒心がつよく、すぐに飛び立ちゆっくり観察することができませんでした。翌日午前8時過ぎまで北新田にいたそうですが、その後印西方面に飛び去ったとのことです。(大久保さん、中野さんからの情報)今日も何処かに舞い降りていることと思います。(2010.11.03 北原建郎)

【マヒワ】

昨日(11月6日)、第7回谷津祭りの会場(谷津ミュージアム)付近の谷津田でマヒワとカワラヒワの混群が会場近くの枝に止まったり、上空を飛び回ったりしていました。20数羽の群れが複数飛び回っていました。昨年も谷津でマヒワの群れの報告があり、今後我孫子でマヒワが期待出来るかもしれません。(2010.11.07 間野吉幸)

【北新田】

11月6日(土)北新田の3号排水路の土手にズグロチャキンチョウが来ていました。後ろから飛んできて目の前のヨシにとまり、写真1枚撮ったところですぐ飛び去ってしまいました。見たこともない初めての鳥なので、鳥博の斎藤さんに判定していただきました。昨日(9日)から北新田にツグミ、カシラダカが来ています。また、今朝は500羽以上のカワウが、大群で北東北方向に飛んでゆきました。(2010.11.10 中野久夫)

今秋の北新田での主な冬鳥の初認は、タヒバリ 10/19(5羽)、タゲリ 10/24(4羽)、ジョウビタキ 11/3(2羽)、ツグミ 11/9(3羽)でした。11月なっても多くのムナグロが来て、1日には75羽、7日は8羽いました。11月1日、2日にクロツル(1羽)、6日にズグロチャキンチョウ(1羽)が来ていました。(2010.11.15 中野久夫)

【マミチャジナイ】

水元公園マミチャジナイ現るの情報に、じっとしていられなくなり行ってきました。(2010.11.09 大久保陸夫)

マミチャジナイは、私の以前の経験では、東京では、注意して見ていると、数は多くないものの、他の大型ツグミ類の渡来前の9-10月に見られる鳥でした。まだ他の大型ツグミの渡来前の時期に、「シーッ」という大型ツグミの地鳴きが聞こえて、見てみると、やや小振りな鳥の小群がいてそれがマミチャジナイということが多かったです。ムクノキなどの木の実が好きなのですが、渡りの時期のためか、小群で高い樹冠を落ち着きなく飛び回っていることが多く、写真を撮影するのは難しそうな状況が多かったです。我孫子野鳥を守る会の30年のまとめにもマミチャジナイは載っていませんが、我孫子にも飛んできてもおかしくはないのではと思っています。それで、鳥研の裏にあるムクノキに秋に鳥が来ているときどき注意して見ているのですが、なぜか見たことはありません。何かちょっとしたルートの違いがあるのでしょうか。(2010.11.10 平岡考)

【手賀沼】

21日(日)は親子探鳥会に参加しましたが、手賀沼では多種類の水鳥が観察されました。その中でもオオハクチョウが1羽観察されています。鈴木さんの鳥便りでは、19日に手賀川でもオオハクチョウが観察されているようで、同じ個体かも知れませんね。今日は、午後雨が上がったので手賀沼のお立ち台に行ってみましたが、風が強くて水鳥は葦原に隠れて駄目でしたが、田んぼにはタゲリが20羽、電線にはカワラヒワの大群がいました。NEC東側の田んぼにもタゲリが41羽が観察され、冬鳥の季節到来を実感しました。

(2010.11.23 桑森亮)

昨日、染井入落でミコアイサ(♀)を見かけました。直ぐ傍に、キンクロハジロがやや大きい魚を飲み込めずに苦労していました。しばらく格闘しておりましたが、その後どうなったか？(2010.12.07 大久保陸夫)

11 月幹事会報告

日時 11月14日(日) 13:30~16:30

場所 アピスタ 2F 研修室

議題 1. 芋煮会の実施と作業分担 提案通り了承された。去年と同じように奉行制で実施
2. 会報218号記載記事について 記載記事は原案通り了承され、担当者も決定。
3. 会計中間(第2四半期)報告 会計担当の北原幹事が説明、了承された。

報告・検討事項

1. JBF 実施概略報告(実施状況ほか)
2. 川瀬巴水展への協力
(主催:我孫子市民プラザ(我孫子市あゆみの郷都市建設公社)参考資料配布
首藤幹事が窓口となり協力することになった。)
3. 12月定例探鳥会で、一般市民の体験探鳥受け入れ(報告)
我孫子市民活動サポート委員会よりの協力依頼があり協力することに決定。
4. JBF 参加の台湾野鳥の会(台湾野鳥保育協会)との交流(報告)
10月25日に北新田を探鳥案内し喜ばれた。
5. 我孫子野鳥を守る会 HP 記載写真のマナーについて
参考資料 野生生態写真のマナー 我孫子市手賀沼課に相談することになった。
6. 手賀沼と冬鳥、舟とウォーキングによるツアーの探鳥指導
利根川舟運・地域づくり協議会より探鳥指導の依頼があり受け入れる方向で決定。後日、実施日をH22年1月22日(土)に決定。

手賀沼流域フォーラムでパネル展示

当会は10月9日けやきプラザで開催された手賀沼流域フォーラム全体会でパネル展示をした。展示したパネルは「手賀沼の水鳥は？」と題し、当会の水鳥個体数調査等のデータを基に、手賀沼の水鳥の現状を紹介した。

今から50年前(1969年)の手賀沼の水鳥は約3万羽、当会が調査を開始した1977年(33年前)の真冬の水鳥は約3千羽、現在(2010年)が約7百羽と激減している実態を紹介した。
(間野吉幸)

手賀沼流域フォーラム手賀沼親子探鳥会

手賀沼流域フォーラム地域企画の一環として、当会が企画した親子を対象とした探鳥会を今年も実施しました。天候に恵まれ暖かく、絶好の探鳥日和で、オオハクチョウやキンクロハジロなど39種の野鳥を観察しました。参加者からは、会員の親切な案内に感謝され、初

見の野鳥に大満足した方も多く、良い探鳥会になりました。

日 時 11月21日(日)9時~12時

行 程 手賀の丘公園~手賀沼(下沼)~手賀の丘公園

参加者 一般者 16名

当会会員 猪爪敏夫、古出洋子、桑森亮、野口隆也、松下勝子、松本勝英、六角昭男、間野吉幸
(間野吉幸)

長寿大学3年生探鳥指導

長寿大学の依頼により、学習計画「緑の保全と野鳥観察」として、谷津ミュージアム内自然観察と探鳥を行いました。

実施日 10月29日(金) 10時~12時

場 所 岡発戸・都部谷津

参加者 長寿大学3年生 42人

当会 松本勝英、木村稔、北原建郎、猪爪敏夫、佐々木隆、染谷迪夫

(染谷迪夫)

柏市中原小学校 探鳥指導

10月28日(金)PM1:15~3:15 手賀の丘少年自然の家で実施予定でしたが、雨天のため中止でした。
(染谷迪夫)

柏市豊小学校 探鳥指導

バードウォッチングは初めての生徒が多かったので、レンズ越しの野鳥に接し全員楽しんだようだ。

日 時 10月15日(木)9:30~12:00

行 程 手賀の丘少年自然の家を起点に手賀の丘公園、周囲の畑や水田、手賀沼湖畔を探鳥

参加者 生徒 46人、先生 3人

当会 六角昭男、北原建郎、松本勝英、間野吉幸、木村稔、染谷迪夫、猪爪敏夫

夫

(染谷迪夫)

新会員紹介

小林 博之 (我孫子市在住)

ほーほーどり No. 218 (2011年1~2月号)

発 行 2011年1月1日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 染谷迪夫 〒270 1154 我孫子市白山 1-9-4 Tel: 04 7182 3972

U R L <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会 費 年会費 2,000円(大学生・高校生 1,000円、中学生以下 500円、家族会員 無料)